

## 令和3年度 第33回特別史跡新居関跡整備委員会議事録

- 1 日 時 令和3年8月5日（木） 午後13時30分～午後15時50分
- 2 場 所 湖西市民活動センター2階 大会議室
- 3 出席者 整備委員 渡辺和敏委員 箱崎和久委員 寺田敏幸委員  
金原孝宜委員 石本東生委員 後藤建一委員  
静岡県 文化財課 武田寛生  
事務局 渡辺宜宏（教育長）  
山本信治（産業部長）  
松山智次郎（文化観光課長）  
鈴木紀子（文化観光課 文化係長）  
大須賀広夢（文化観光課 文化係主事）
- 4 議 題 ①解説板面案の内容について  
②令和4年度事業計画について
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者 無

### 7 次 第

#### 【開 会】

#### 【教育長あいさつ】

#### 【委員・事務局紹介】

#### 【議 題】

##### (1) 解説板面案の内容について

事務局より今年度設置予定の板面案の内容について説明

##### ・解説文について

（委員長）解説板に関所の機能や規模についての記載がないのが気になる。新居関所は東海道の渡船場に設置されていたことが重要であるため、そのことについての記載が必要である。また、関所で何をしていたのか今の解説文では伝わらない。

（事務局）面板解説文の2段落目の指定の年月日についての記載を削除し、機能についての文章をいれるのはどうか。

（委員）いいのではないか。ただ、大正10年に国の史跡に指定された文言は必要であるため、現在記載されている追加指定の年月日を削除し、大正10年の記載を追加するべき。

（委員）出女の説明は？

(委員長) 新居は出女だけでなく、入女も特徴なので、往来する通行人とした。「厳しく」を入れたらどうか？

(委員) 新居関所の特徴として、船の取調べを行っていたことが挙げられるがそのことについての記載はしないのか。

(委員長) 本来であればそのことについての記載も必要だが、文字数の制限で難しいように感じる。なので鉄砲等と「等」を入れた。現在のレイアウト案から地図の割合を減らし、解説文の範囲をもう少し取れないか。

(事務局) 今後取り外し等が行えるように陶板を6分割したレイアウト案で記載した。

(委員) 面積についての記載があるが、今後追加指定で面積が広がる可能性があるため、日付についての記載も必要。

(委員) 解説板面自体に日付の記載がないが、必要ないのか。

(委員) 必要であると思う。面板設置の日付でも可。

#### ・ 関所の構内範囲について

(委員長) 「今切関所平面図」の東西南北の縮尺を現在の地図に落とせば、正確な構内図になるのではないか。

(事務局) 面板案に示した構内図はそのようにして作成した。

(委員長) 絵図の船囲場から枡形へ伸びる道が絵図に記載されており、そのことを考慮すると現在の構内図は南に伸びすぎている気がする。

(事務局) 現在の地割が当時の船囲場の形状を示していると考えたため、このような形状で示した。

(委員長) 構内範囲図の説明について、江戸時代の範囲については(推定)の文字が必要。

(委員) 範囲の文字を削除し「江戸時代の構内(推定)」の記載にしたほうが良い。

(事務局) 渡船場の階段の範囲は構内範囲に含めても良いか。

(委員長) 推定の文字を記載すれば含めても良いのではないか。

(委員) 船囲場東側の浜名湖の範囲が鋭角になっているのが気になる。

(委員) 「新居古図」と「鱸家文書」を参考に、船囲場の形状に復元してしまえばよい。

(委員) 根拠はないので、船囲場東側も現状の南北道路に沿わせてしまうのはどうか。

(事務局) 東側はどこまで伸ばせばよいか。

(委員) 個人宅がかつて湖の中にあつたかのように復元するとトラブルにつながりかねないため、現在の南下ラインの少し東側にある家の隙間を縫うように線を下ろすのが良い。

(委員) グラデーションで示すという方法もある。

(委員) 洲崎橋のあたりの内山地番は陸地だったのではないか。

(委員) 絵図の船囲場の入り口の突起の形状(堤防状)は、現在の地形に生きているのではないか。

(委員) 初めてくる人は今の地形からかつての浜名湖の姿をイメージできない。地図中にかつての湖岸線を示したうえで「～時代の湖岸線の位置」という記載を入れたほうがイメージしやすい。サイン看板に縮尺と方位も示すべき。また、私見ではあるが、関所の英語表記が「check point」だと関所の重要性が伝わらない。「check station」という表記のほうが規模や機能の点から正しいのではないか。重要な遺跡であるため“クオーテーションマーク”や括弧書き、冠詞Theも加えて記載したほうがいのように感じる。一度ネイティブの人に確認をしてもらいたい。(⇒後日、ネイティブスピーカーに確認し「check point」となる。)

また、QRコードをスキャンすると英語のページへリンクできる仕組みになっているのか。

(事務局) 湖西市のウェブサイトリンクを考えていたため、看板の内容に飛ぶようには考えていなかった。

(委員) 外国の人が勘違いするため、同じ図面や、英語表記の解説文が表示されたウェブページを作ることが望ましい。

(事務局) 湖西市ウェブサイト看板の内容のページを作成は可能。

(委員) 湖岸線については「江戸時代の浜名湖」と記載することで解決できる。

(委員) 渡船場という表記があると案内のときに便利。

(委員) 渡船場を表記すると樹形など、他の表記も必要になってしまう。関所の中の表記は、高札型の看板でいいのではないか。

(委員) 現在も主要な交通網が通っていることを示すため、地図に新幹線と在来線についての記載も必要である。また、地図の右上に江戸時代の広域図をのせ、舞阪の新居の位置関係を示すと理解しやすい。

(後日⇒今切変遷図を使用すればよい)

(委員) 現在地の表記も必要。地図上の文字表記については、江戸時代のものを黒文字、鉄道について青文字等にして表記したほうが良い。

(委員) 「東海道」の文字を統一して文字を白抜きにした方が見やすい。

(委員) ルビ「新居」「船囲場」「湖西」は必要か？

(委員長) 英語表記もあるので新居は読めるのでは？

(事務局) 「静岡県湖西市」は必要か？

(委員) 「静岡県湖西市」は設置機関なので記載が必要。英語表記は？

## 令和4年度事業計画について

令和4年度の事業計画を事務局より説明

- ・高札型説明板の設置
- ・史跡保存活用計画の策定について

### ・高札型説明板の板面案について

(委員長) 説明板ごとに体言止めとそうでないものが混在しているのが気になる。

(委員) 体言止め表記でもかまわないと思うが、説明板ごとに統一するべき。

(委員長) 説明版の表記にメートル法と尺間法が混在しているため、これも統一したほうが良い。

(委員) 建物の大きさは文章で書いても伝わりづらいので、船会所や土蔵は実際に地面に大きさを示して文章中からは削除しても良いのではないか。実物があるものも大きさは不要。

(委員) この文章も今日中に決めてしまうのか。

(事務局) 来年度の市単費で行う事業なので、予算がつけば実施する運びとなる。そのため、今日中に決めてしまう必要はない。

(委員) 説明文の内容から専門用語を減らし、噛み砕いた表記を心がけたほうが良い。「船会所の機能」は説明になっていない。何をするとするか？

(委員長) 船会所に問屋場はあったのか？宿村大概帳で確認してほしい。(⇒後日確認。船会所に問屋場あり。)

(委員) 荷物石の名称は「大石」でよいのでは。「石樋」は「鴨の口」とか。

(委員) 当時の看板設置者に「鴨の口」といった経緯を確認してみる。

(事務局) 今回いただいた意見を元に、来年度に再び文章案を提示する。

(委員) 来年度提示する際は縦書きで、CG等でイメージ図を添えて示してもらいたい。

### ・史跡保存活用計画の策定について

(委員) 最終的にはパブリックコメントを集め、計画に反映させたうえで印刷を行うのか。

(事務局) その予定である。

(委員) 行程的には2年目の8～10月にはパブリックコメントをとることになると思うが、そうなると、2年目の夏までには骨子を固める必要がある。1年半で全て策定するペースで進めないと間に合わなくなるた

め、注意が必要である。また、策定のうえで特に大変なのは、「保存・活用・整備の方向性と方法」「運営・体制の整備の方向性と方法」の項目。それより前の項目の内容を固めておかないと作業がスムーズに進まないが、そのためには整備の方向性等のイメージから現状と課題を考えておく必要がある。1年目には現状と課題までの項目は完成させておくイメージで、なるべく早めに作業を進めてほしい。

（委員長）パブリックコメントを集める体制は出来ているか。

（事務局）庁舎入り口で閲覧してもらい、意見を集める予定である。

（委員長）意見は集まるのか。

（事務局）総合計画等の大きい計画の場合は、多数の意見が得られている。

（委員）他自治体の例を参考にすると、ウェブサイトで公開し意見を募集すると、多くの意見が集まるようである。

（委員）委員会の規模はどれくらいになるのか。

（県）規模も自治体により様々であるが、学識経験者、まちづくりの関係者、地元住民の参加が必須であるが、現在の整備委員会のメンバーで全てカバーできている。他の地域などは、市や有識者だけで策定するのではなく、ワークショップなどを実施している。

（委員）面番所は地域の人がいつでも入れる場所ではないため、一般的な史跡とは要件が違い、そこが活用のネックになると思う。また、地域住民がどのように関所を利用していきたいのか、意見を集められる仕組みがあればより良い計画になる。

【閉会】

（以上）